

あんず杏 2023 SUMMER (7月号) 通信

病院と地域を繋ぐ

vol.270



○医療の窓から

乳児股関節エコーについて

○ホスピタルLINK

5名新任医師紹介

○Reborn”新病院の今”

○あんずHOTニュース

- ・シンボルマークが決定しました。
- ・今月の献立はなに??
- ・求人募集

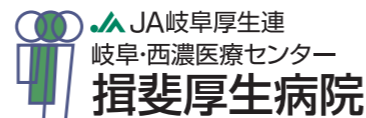
○私たちが伝える揖斐の魅力

○部署紹介/検査科

～ 病院の理念 ～

私たちは良質な医療を提供し地域の皆さまから信頼される心豊かな病院づくりを目指します。

- 患者さんの安心を心がけます
- 地域の健康増進に尽力します
- 医療技術の向上を図ります



〒501-0696
岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2547番地4
TEL/0585-21-1111
FAX/0585-21-1112
URL/http://www.ibi.gfkosei.or.jp

外来診療担当表

外来受付時間/午前8時30分～11時30分

		月	火	水	木	金		
内科	午前	初診	1診	渡邊 一弘 (循環器)	島崎 信 (消化器)	水草 貴久 (循環器)	馬淵 正敏 (消化器)	山田 好介 (代務医)
			2診	岩佐 太誠 (消化器)	清水 靖子 (循環器)	足立 政治 (消化器)	松尾 康博 (代務医)	中村 博式 (消化器)
		3診	清水 靖子 (循環器)	馬淵 正敏 (消化器)	塚本 達夫 (循環器)	清水 靖子 (循環器)	塚本 達夫 (循環器)	
		4診	足立 政治 (消化器)	中川 正康 (代務医)	山田 好介 (代務医)	-	島崎 信 (消化器)	
		5診	河合 隆雄 (代務医)	水草 貴久 (循環器)	-	中村 博式 (消化器)	水草 貴久 (循環器)	
		6診	-	岩佐 太誠 (消化器)	西脇 伸二 (消化器)	渡邊 一弘 (循環器)	渡邊 一弘 (循環器)	
	午前	【血液内科】 高田 英里 (予約診療9:00～11:30)	【糖尿病・免疫・内分泌内科】 鷹尾 賢 (代務医) (予約診療9:00～11:00)	-	-	-		
午後	特殊外来	【血液内科】 高田 英里 (代務医) (予約診療 9:00～11:00)	【NST・PEG外来】 西脇 伸二 (予約診療14:00～16:00)	【血液内科】 中村 博 (代務医) ※第1・2・3週(第2は初診のみ) (予約診療13:30～16:00)	【心血管外科】 加藤 貴吉 (代務医) ※第2週 (予約診療14:00～16:00)	【血液内科】 中村 信彦 (代務医) ※不定期診療 (予約診療13:30～16:00)		
		-	【神経内科】 吉倉 延亮 (代務医) (予約診療14:00～16:00)	-	【血液内科】 高田 英里 (予約診療 13:30～14:30)	-		
外科	午前	1診	佐野 仁哉	小島 則昭	櫻谷 卓司	熊澤 伊和生	西尾 公利	
		2診	高橋 孝夫	-	-	高橋 孝夫	-	
		3診(8:30～)	熊澤 伊和生	西尾 公利	佐野 仁哉	小島 則昭	櫻谷 卓司	
		乳腺外来(10:30～)	-	-	-	-	-	
整形外科	午前	1診	大島 康司 (代務医)	熊澤 慎志 (代務医)	高木 魁人 (代務医)	代務医 (9:30～11:30)	田口 慶太 (代務医)	
		2診	【脊椎外来】 代務医 (9:30～11:30) 月1回・不定期	代務医 (9:00～11:30)	-	-	-	
小児科	午前	1診	伊藤 貴美子	伊藤 貴美子	後藤 加寿美	伊藤 貴美子	伊藤 貴美子	
		2診	代務医	-	代務医	-	-	
	午後	<予防接種> (15:00～)	-	-	<心理カウンセリング> (13:00～16:00)	伊藤 貴美子 <学童再診> (15:00～16:00)		
婦人科	午前	1診	古田 典夫	古田 典夫	古田 典夫	古田 典夫	古田 典夫	
泌尿器科	午前	1診	伊藤 康久	伊藤 康久	伊藤 康久	永井 司	伊藤 康久	
耳鼻咽喉科	午前	1診	竹内 秀行	竹内 秀行	竹内 秀行	竹内 秀行	竹内 秀行	
皮膚科	午前	1診	藤広 満智子	-	市川 裕子 (9:00～11:30)	藤広 満智子	市川 裕子 (9:00～11:30)	
眼科	午前	1診	村田 一弘	村田 一弘	村田 一弘	村田 一弘 (完全予約のみ)	村田 一弘	
脳神経外科	午前	1診	堀 貴光 (代務医)	田中 嘉隆	江頭 裕介 (代務医)	田中 嘉隆	田中 嘉隆	
歯科 口腔外科	午前	1診	吉見 涼子	吉見 涼子	吉見 涼子	吉見 涼子	吉見 涼子	
		2診	奥田 孝大	奥田 孝大	奥田 孝大	奥田 孝大	奥田 孝大	
		初診は 午前のみ	【口腔外科専門外来】 柴田 敏之 (代務医) 8:30～12:30	渡辺 二三雄	渡辺 二三雄 (8:30～11:30) 山田 陽一 (※13:30～)	柴田 敏之 (代務医) ※13:30～	渡辺 二三雄 (8:30～11:30) 山田 陽一 (※13:30～)	
人工透析センター			永井 司	永井 司	永井 司	永井 司	永井 司	

発行

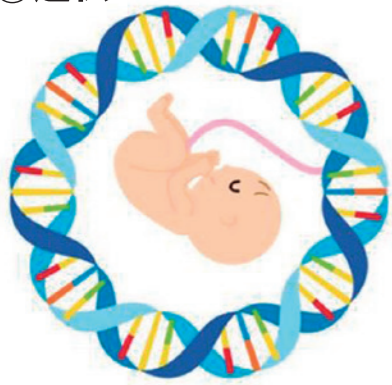
JA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院

所在地/〒501-0696 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2547番地4
TEL/0585-21-1111 FAX/0585-21-1112 URL/http://www.ibi.gfkosei.or.jp

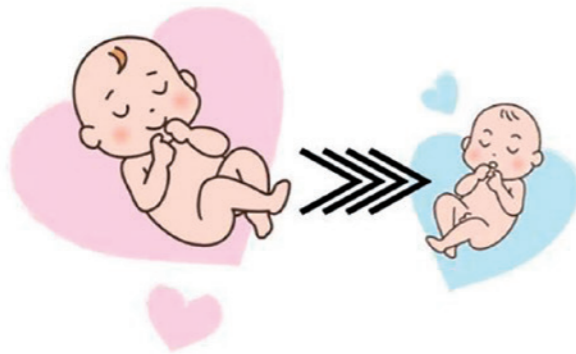
診療受付時間/8:30～11:30
休診日/土曜・日曜・祝日・年末年始

リスク因子

① 遺伝



② 女児

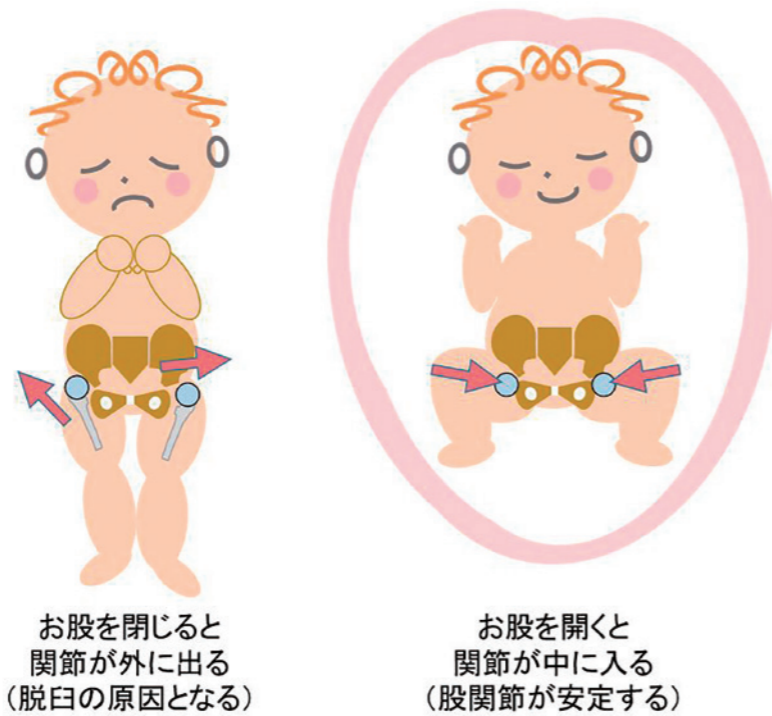


③ 逆子（骨盤位）



治療方法

早期発見が何よりも重要です。股関節が完成されるのは生後7か月頃と言われています。そのため生後3、4か月までに発見された場合、オムツの当て方や装具等で股関節を正常な位置関係に保ち、股関節形成を促すことにより、高度な脱臼でも高率に治療します。しかし、月齢が進むほど、治療が極めて困難になります。



お股を閉じると
関節が外に出る
(脱臼の原因となる)

お股を開くと
関節が中に入る
(股関節が安定する)

早期診断のために、エコーによる検査が有効であり、健診で「股関節が固い」などと指摘された場合、様子を見ることはせず速やかに検査を受けていただくことをお勧めします。また、診断の見逃しを無くすため、本来は全ての赤ちゃんにエコーによるチェックを行うことが望ましいと考えます。症状が無くても、ご希望の方はエコーによるチェックを受けられますので、お気軽に小児科へお問い合わせください。

先天性股関節脱臼（発育性股関節形成不全 DHH）とは

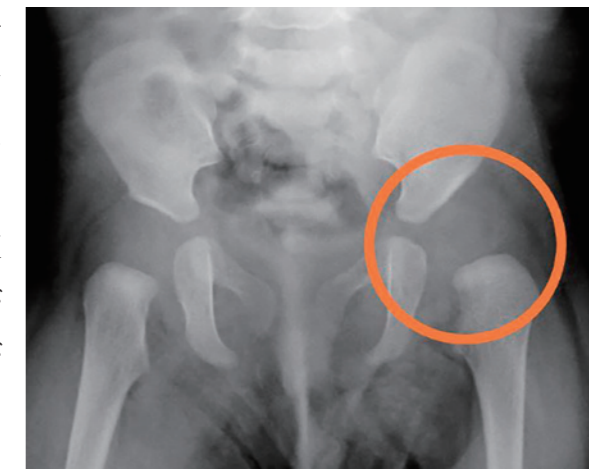
出生時または出生数か月後に股関節が脱臼、亜脱臼している状態を指します。（生まれた時に、はずれているかいないかではなく、徐々にはずれていく可能性のある疾患である為、発育性股関節形成不全 DDH が正しい名称です。）最近では出生千人に2~3人と比較的まれですが、万が一見逃された場合、変形や跛行（足を引きずって歩く）など機能障害につながる恐れもあります。

症状は??

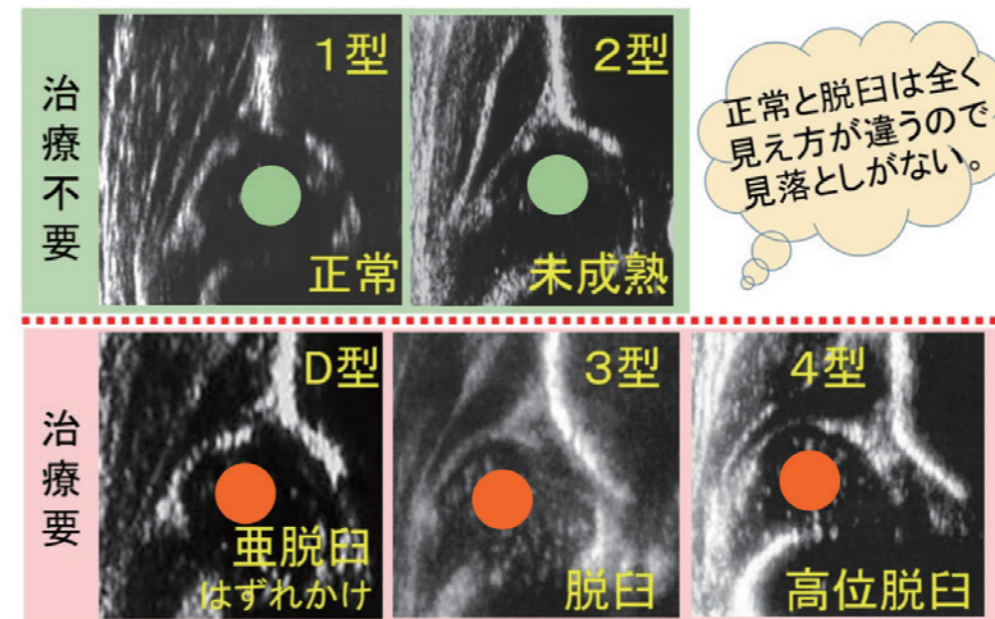
痛みなどの自覚症状はありません。脚の長さの左右差、太ももやおしりのシワの左右差、足の開きの左右差などが症状ですが、個人差が大きく目立たないこともあります。また、両側脱臼など、左右差がないこともあります。

診断方法

乳児健診では、医師が必ずチェックする重要項目の一つです。しかし、股関節の開き具合や下肢長の左右差を診るなどの診察のみでは限界があります。正確な診断方法には、X線撮影と、超音波検査（エコー）を用いる方法があります。X線は放射線被曝のリスクがあり、判読にも専門的な知識が必要で、気軽に行うわけにはいきません。その点、エコーは被曝のリスクなく気軽に
行えますし、レントゲンでは正常でもエコーにて見つかることもあります。



▲レントゲン写真



※●と●では位置がずれている

▲エコー画像

医療の「窓」から

From the medical window

今号のテーマ

乳児股関節エコーについて



緩和ケアセンター長
小田切 拓也

皆さま、初めまして。2023年4月より、緩和ケアセンター長を拝命いたしました。緩和ケアとは、重篤な病気をもった患者さまやご家族に対して、さまざまな苦痛（痛み、吐き気、息苦しさ、食欲がないなど）、不安やつらさなどの症状を緩和させる（楽にする）ことを専門としています。外来でも入院でも対応を致しますので、必要でしたら主治医にご相談ください。また、2023年10月より新病院に移ってからは、緩和ケアの専門病棟が始まります。こちらは、がんの患者さまで進んだ病状の方を対象としています。2ヶ月ほど前より、その案内の外来も開始を致します。宜しくお願い致します。

地域の皆様、はじめまして。令和5年4月より内科に赴任いたしました。内科疾患全般の診療を担当させていただくほか、胃カメラや大腸カメラといった検査も担当いたします。皆様が平穏な日常生活を送るため、少しでも手助けができるよう努めていく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



内科医師
岩佐 太誠



Reborn “新病院の今”

現在の工事進捗状況と今後の予定

新病院開院まで3ヶ月余りとなりました。現在は、造成工事と内装工事・家具の取付作業を行い、7月末の完成を目指しております。完成後、8～9月にかけて医療機器等の搬入、現病院の引越を予定しております。また、9月21日に竣工式を、執り行う予定です。医療機器の搬入、大型車輛等の往来でご迷惑をお掛けしますが、引続きご理解・ご協力をお願い致します。



▲ 手術室



▲ 個室病床

健康にまつわる選りすぐりの知恵や情報をお届けします。

ホスピタルLINK

“5名の新任医師を紹介します”



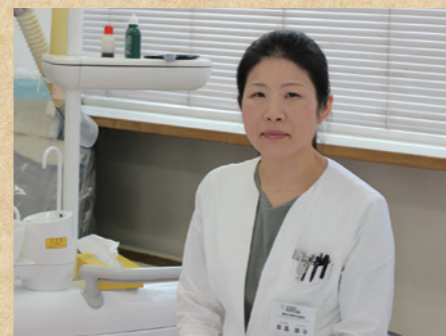
副院長兼消化器病センター長兼消化器外科部長
高橋 孝夫

私はこの度2023年4月より岐阜・西濃医療センター 揖斐厚生病院に赴任いたしました。2023年3月まで18年6ヵ月間岐阜大学医学部附属病院消化器外科に勤務し、腫瘍外科医として癌治療・特に大腸癌を専門にしてきました。身体に優しい腹腔鏡手術や、化学療法（抗癌剤）を得意としています。当院では消化器疾患全般において消化器内科、消化器外科が力を併せ、地域の皆様方に信頼されるよう外科治療を頑張る所存です。10月に開院予定の新病院では岐阜大学病院で積極的に行ってきましたロボット手術など、最先端治療にも取り組んでいき、新病院を盛り上げていきたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

このたび脳神経外科に赴任いたしました。脳神経外科の分野は、脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷などです。開頭して直接、脳の手術を行う開頭術やカテーテルを用いて行う血管内治療を行っております。近年の高齢化に伴い、脳卒中などの脳外科領域の疾患は、ますます身近な疾患となっております。この地域でも脳卒中診療の重要性は増しており、お役に立てるように精進してまいります。よろしくおねがいたします。



脳神経外科部長
田中 嘉隆

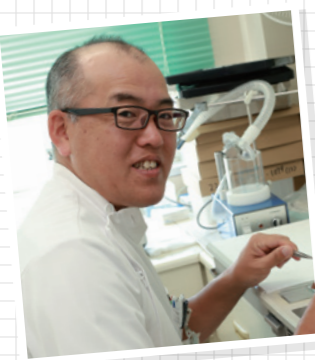


歯科口腔外科部長
吉見 涼子

皆様、はじめまして。2023年4月より当院歯科口腔外科部長を拝命、着任いたしました。腫瘍などの出来物、骨折、歯茎や頬の腫れ、親知らずの抜歯、顎関節症など、さまざまなお口のトラブルに対する治療に携わってまいりました。これまでの経験をもとに、地域の皆様のお口の健康に少しでも貢献できたらと考えております。宜しくお願いいたします。



私たちが伝える“揖斐の魅力”



主任臨床検査技師
外川 綱生

好きな言葉
何ごとにも感謝の心

私が小学低学年の頃、その当時「揖斐総合病院」の小児科に毎週のように通院していました。それ以来揖斐厚生病院との繋がりは40年になります。当院に就職し働き始めたころ、当時小児科でお世話になった小児科の先生や看護師さんが、私の事を覚えてくださり、声をかけてくださるととても嬉しかったのを覚えています。すべてが不安な新人のころ、やさしく温かいスタッフ、病院のアットホームな雰囲気、救われました。そんな揖斐の良さを受け継いで、今後も更に地域の皆様に愛される病院を目指して、日々精進して、頑張っていきたいと思っております。



主任看護師・感染管理認定看護師
宮部 由佳

好きな言葉
温故知新

揖斐にある三輪神社で5月に奉納される子供歌舞伎は地域芸能として日本文化を身近に感じられる揖斐の魅力のひとつです。

当院の魅力はなんといっても「温かさ」です。すべての職種が支えあい連携できる職場風土は最大の武器です。私は看護師として就職し33年経ち、感染の看護師としてコロナの対応に3年半奔走してきましたが、この荒波を乗り越えることができたのは、多職種の方々の力添えによるものと感謝に堪えません。これからも微力ながら、地域の皆様が安心して医療を受けただけのよう感染対策に邁進していきたいと思います。

部署紹介

「検査科」



検査科では、日常診療における病気の診断や予防、治療効果の判定などを行う際の医療情報を提供する重要な役割を果たしています。患者さんより採取された尿や血液などを調べる検体検査（一般検査・生化学免疫検査・血液検査・輸血検査・細菌検査・病理検査）や患者さんを直接調べる生理検査（心電図・脳波・超音波など）があり、広範囲な臨床検査を実施しています。また糖尿病ケアやICT（感染制御チーム）・NST（栄養サポートチーム）などに参画し、チーム医療の一員として活躍しています。様々な検査を実施するために、日々の機器保守点検や精度管理はもとより、外部の精度管理（日本医師会・日本臨床衛生検査技師会・岐阜県臨床検査技師会など）に参加し、検査の質の維持・向上に努めています。医学の進歩とともに、臨床検査でも専門性の高い内容が要求されており、各種学会や研修会に参加し、新しい技術や知識を習得するよう努力しています。迅速かつ正確なデータの提供を進めるとともに、他部門との連携や診療支援の充実を図り、医療の場に相応しい検査科を目指しています。

あんずHOTニュース

揖斐厚生病院の気になる「HOTなニュース」をお届けします。



西濃厚生病院の「シンボルマークが決定しました！」

令和5年10月開院予定

の「西濃厚生病院」の病院シンボルマークが決定しましたので、お知らせします。3つのマークの候補の中から、職員による投票を行いました。このシンボルマークには、次のような意が込められています。



- 病院の頭文字Sをモチーフに、ブルーは“医療・水に見立て”、グリーンは“地域”とし組み合わせました。
- 病院と地域が連携しつなかりと支え合うさまを表現しました。
- 新病院が提供する地域完結型医療をイメージしました。



「今月の献立はなあに??」

栄養科では、毎月季節のイベントや暦にちなんだ「行事食」を提供しています。入院患者さんが療養生活の中で、目で楽しみ味わって満足していただけたいという思いを込めて、献立を立てています。今回ご紹介するのは、6月の行事食「入梅」です。梅雨の季節に入る最初の日で6月11日頃の時期を入梅と言います。じめじめした梅雨でも気分が晴れるように、梅や酢を使った爽やかな献立にしました。



MENU
6/11 昼 入梅 《常食》
・梅入り菜めし
・南蛮漬
・炊き合わせ
・すまし汁
・葛餅

MENU
《糖尿病食》
・梅入り菜めし
・南蛮漬
・茄子の翡翠煮
・すまし汁
・オレンジ



新病院開院に向けて下記職種を募集します

看護師・看護補助員
※夜勤ができる方、大歓迎

お問い合わせ
揖斐厚生病院 企画総務課
☎ 0585-21-1111

